

がむまの子

笠松町道徳教育連絡会議



笠松小学校PTAは、親として子どもに対して、一体何ができて活動しています。家庭の中で、地域の中で、親の存在が希薄になってきていることが、今の教育の混迷を深めている原因の一つではないかと思えます。我々が育った時代に比べ、何もかもが便利になった反面、親子間が正面から向かい合う時間が少なくなった気がします。そこで今年度は、「親子のふれあい」をテーマに活動しております。その一部を紹介します。

【授業参観日の親子体操】



新聞紙を使ってケンケンパッ

六月に岐阜聖徳学園大学の山崎先生をお迎えして、「親子体操」を実施しました。普段、親子で体をふれあうことが少なくなってしまう中、押し引きしたり、新聞紙を使ったりして様々な遊びを教えてくださいました。講堂の中は、親子の歓声と熱気でいっぱいになり、身近にあるもので、こんないろいろな遊びができるのだという創造力に感心し、まさに遊びは創造から始まるものだと実感しました。

【親子活動Ⅱお餅つき大会】

今年で三回目となったお餅つき大会、昨年よりも参加者が増え、会場では子どもの喜ぶ姿はもちろんのこと、親も童心に返り一緒に楽しむことができました。終了後には「楽しかった」「つきたてのお餅がおいしかった」「来年も参加したい」という感想をもらいました。親子、親同士のコミュニケーションがとれた有意義な一日となりました。



息を合わせて、ガンバレ

このような活動を通じ、「共に育ちあう」関係を意識しながら、今後の活動に取り組んでいきたいと思えます。

笠松小学校

PTA会長 後藤 英司

懐かしい映像に歓声 新成人の集い

新成人の集いが一月十三日、中央公民館で行われました。今年、二百三十六人がおとなの仲間入りをし、集いには百六十九人の皆さんが出席しました。オープニングセレモニーでは、新成人の手づくりによる懐かしい映像がスクリーンに映るたびに歓声が上がっていました。その後、式典や恩師を囲んでのティーパーティーが行われ、久しぶりに再会した友人と想い出話、近況や将来について語り合うなど、希望に満ちた輝きであふれていました。



近況を話したり、写真を撮りあったりする新成人